



# 大阪万博より 暮らし応援へ 日本共産党

## ☑ 危険な夢洲での万博はやめとこう

建設費や運営費は際限なく膨らみ続けていますが、もとは国民の税金です。いま優先してお金を使うべきは、上がらない賃金、円安・物価高でどんどん苦しくなる暮らしと営業の応援や、能登の震災復興支援です。

万博会場で起こった爆発事故で危険がはっきりしました。さらに、夢洲へ行くルートは2ヶ所だけ（橋とトンネル）。地震や水没、豪雨などで通行できなくなると、最大で1日22万7千の来場者が帰宅困難になる恐れがあります。しかし、災害が起きた時の避難計画はまだありません。

## ☑ 今からでも中止できます。

国や府は「万博開催で『3.3兆円』の経済効果が生まれるから大丈夫」などと言いますが、その前提は2820万人の来場者予測に基づくものです。USJの来場者数の最高が1390万人（2015年）です。それ上回る来場者予測、机上の空論としかいいようがありません。今からでもやめられますし、やめた事例もあります。1992年シカゴ、95年ウィーン、ブダペストで開催が決まっていた万博が財政問題などで中止になりました。



# ガス 万博会場で爆発 遠足行事って 危ないんじゃない？

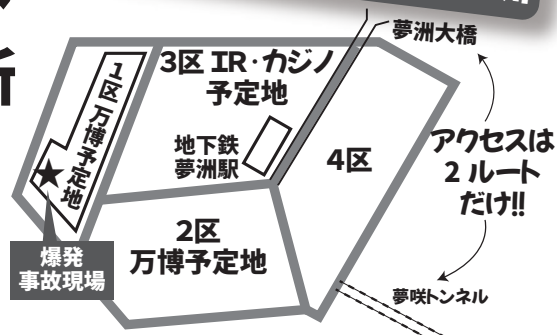


## 爆発が起きた場所は 子どもたちの昼食休憩所

もともと夢洲はゴミの最終処分場ですから、メタンガスが発生するのは当然です。昨年夏には約80本のガス抜き管から毎日2トンものガスが発生。3月の事故で危険性がはっきりしました。

しかも今回爆発のあった場所（夢洲1区）は、遠足に来た子どもたちが弁当を食べる「団体休憩所」のあるところ。そんな危険なところに、子どもたちは行かせられません。

## 万博・IR 予定地の夢洲



## 万博への遠足行事としての 子どもの“動員”はやめて

大阪府は、府内だけで4歳から高3生合わせて約102万人の「無料招待」を計画していますが、疑問と不安がたくさん出されています。

- ✓バスは1日10台 ➡ ラッシュ時に「地下鉄で移動」
- ✓バスからゲートまでの距離は？ ➡ 「約1km（徒歩30分）」※屋根なし
- ✓1日1万4千人の児童生徒が来場 ➡ 昼食場所のキャパ「2千人」
- ✓雨天時はリングの下 ➡ 「ベンチ等があるかは不明」
- ✓会場の下見はいつできる？ ➡ 「未定」
- ✓どのパビリオンに行くの？ ➡ 「希望はうけたまわれません。」

※2025年大阪・関西万博への学校単位での招待事業事務局 HP をもとに作成

**市町村教育長も「万博不安」**  
大阪府教委に緊急要望書

子ども参加をめぐっては、大阪府・関西万博・大阪府内市町村・生徒を校外学習として参加させる問題がめぐり、府内の市町村教育長が安全・安心の確保と対応を求める緊急要望書を府教委に提出している。とが3月までにわかった。

子ども参加をめぐっては、大阪府・関西万博・大阪府内市町村・生徒を校外学習として参加させる問題がめぐり、府内の市町村教育長が安全・安心の確保と対応を求める緊急要望書を府教委に提出している。とが3月までにわかった。

大阪府教委は、子ども参加をめぐっては、大阪府・関西万博・大阪府内市町村・生徒を校外学習として参加させる問題がめぐり、府内の市町村教育長が安全・安心の確保と対応を求める緊急要望書を府教委に提出している。とが3月までにわかった。

(しんぶん赤旗 5/24 報道)

いのちを危険にさらす万博は中止しかありません。  
今からでも中止はできます。詳しくは裏面か動画を→

